オカリス神父は、ローマ教皇 庁の組織再編のために発布された新しい使徒憲章『プレ ディカーテ・エバンジェリウム』について語ります。 愛する皆さんへ。イエスが私の子ど もたちを守ってくださいますよう に。

今朝、教皇様が使徒憲章『プレディカーテ・エバンジェリウム』を裁接したというニュースに皆さんも衰したことでしょう。この使徒憲章は、ローマ教皇庁の再編のためであり、そのために祈ってください。様々な改編の中で、属人区は聖職者省に組み入れられることになりました。

聖座との通常の窓口は変わりますが (属人区が通常ローマ教皇庁と扱う 事柄の多くは、その司祭職に関する ものです)、しかしながら、聖座が オプス・デイに与えた固有法によっ て定められている、信徒と司祭、女 性と男性によって構成されるオプス・デイ属人区の本質は、まったく変わりません。

普遍教会の守護者である聖ヨセフの 祭日にあたり、ローマ教皇庁が教会 と世界のために携わっている奉仕、 ために、デイの信徒、司祭、ての まに祈りまし、司祭、ての まだ、一人かとりが、すべエス と友愛をの友情を追求しつに生る となるよう神に願いましょう。

愛情を込めて皆さんを祝福します。

あなたがたのパドレ

フェルナンド

ローマ、2022年3月19日

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/opus-dei-Zokujinkuchou-messeeji-2022-3-19/(2025/11/26)